



Ethics
Office

業務遂行規範および 経営倫理規定



オンライン倫理
規定



2024 | WORLD'S MOST
ETHICAL
COMPANIES[®]
ETHISPHERE[™]



オンライン倫理規定

ethics.assurant.com

をご覧ください。またはQRコードをスキャンしてください。

倫理・コンプライアンスヘルプライン

Web: helpline.assurant.com

電話番号のオプションについては、オンラインのヘルプラインにアクセスしてください。

匿名SMS: [786-755-1030](tel:786-755-1030) (現時点では米国のみで利用可)

社長兼CEOからのメッセージ



業務遂行規範および経営倫理規定

Assurant はグローバル企業であり、Assurant の価値観に忠実に従う15,000 人を超える多様な人材で構成されています。当社は、困難な局面においても正しい行動をします。

私たちは日々、誠実かつ倫理的にビジネスを行うという意味において、その水準を引き上げることに努めています。また、これは従業員のみならず、ビジネスパートナーや顧客ともにこの実践に取り組んでいます。当社業務遂行規範および経営倫理規定は、このことを実現するための枠組みを提供するものです。誠実に事業運営を行い、倫理的に行動することは、私たちの共同の責任です。

社員のみなさんへ

Assurantでは、高い水準が設けられています。当社では、常に道義にかなった行いをすることを従業員に求めています。The Assurant Wayに即し、私たちの行動は、常識、良識、「当たり前」とらわれない思考、卓越した成果という、妥協なき価値観に基づいて構築された文化を反映しています。これらの価値観を実践することで、私たちは信頼と敬意に基づく文化を築き、困難な課題を誠実に解決しています。というのも、この世界において人々が成功できるよう支援したいと考えるからです。

主要な消費者の購入をサポートし、これを保護し繋げる、世界をリードするビジネスサービス企業であり続けるには、利害関係者の信頼を得る必要があります。そして、当社が最高の倫理基準に従って業務を行い、常に正しいことを行う会社であるという、顧客、従業員、株主、その他当社と関わるすべての人々の信頼を維持していく必要があります。当社の業務遂行規範および経営倫理規定（以下、「規範」といいます）は、当社の基盤となるものです。これは、私たちの意思決定における指針となり、互いに接する際、および顧客と接する際の指針となります。

当社の信念を貫き、当社の価値観に誠実であり続ける責任は、私たち一人一人にあります。本規範は、みなさんが当社業務の推進方法を決定するポリシーと原則に精通し、これらに従った意思決定を行えるよう作られています。すべての従業員には、当社の規範を読み、これを理解し、日々の行動と決定においてAssurantの価値観が反映されるよう努めることが求められます。不明な点がある場合は質問し、規範に違反している可能性があるものを目にした場合は積極的に声を上げてください。当社は、すべての従業員が安心して意見を述べることができ、意見が聞き入れられる環境作りに尽力しています。

皆さんには、私と共に当社の価値観を体現し、あらゆる行動において当社の行動規範を遵守するという決意を新たにさせていただきたいと思っています。これにより、より成功をおさめやすくなり、私たち全員がAssurantで働いていることをさらに誇りに思えるようになります。

キース・デミングス
社長兼CEO

当社の 基本原則



The Assurant Way、当社の価値、および規範の目的

- 業務遂行規範および経営倫理規定を理解し、これを遵守し、懸念や違反の疑いがある場合には声を上げる。
- 業務を展開するすべての法域で適用される法律、規則、規制、ポリシーをすべて遵守し、必要に応じて指示を仰ぎ、違反行為には断固としての確に対処する。

正しいことを行う責任

- 健全な倫理的意思決定を実践し、倫理的な職場を維持するための行動を取る。
- 公正な雇用慣行を実践し、従業員による正しい行動を重視する。
- 正直かつ透明性を維持した、積極的で正確なコミュニケーションを図る。
- Assurantの価値観やポリシーにそぐわない行為を目にしたり、認識したりした場合は、必ず声を上げる。

従業員に対する責任

- 敬意を持って周りに接する。文化、背景、経験、思想の多様性を尊重する。
- 安全・安心な、敬意ある職場環境を維持する。他人に脅威を与えたり、害を及ぼしたりする可能性のある行為について声を上げる。

Assurant

および株主に対する責任

- 会社のすべての資産（物理的資産、金融資産、技術・情報資産、**知的財産**、取引関係、市場におけるAssurantブランド）を保護する。
- 個人的な投資活動において誠実性を維持し、Assurantやクライアントの利益と相反しないこと、また投資に関連する重要な未公開情報に基づいて投資が行われないよう徹底する。

- 不適切なビジネス上の便宜や利益を供与する意図を持った、あるいは供与しているように捉えられ得る、**価値あるもの**の申し出、供与、勧誘、受領が認められていないことを認識する。
- 利益相反を回避し、場合によっては、職場の内外で利益相反であると捉えられ得る行為も避ける。
- 責任あるコミュニケーションを図る。会社を代表して発言する際は必要な許可を求め、ソーシャルメディア上では適切な判断を下す。

パートナー

および顧客に対する責任

- 倫理的なビジネス慣行を確実に実践する。常に公正に、かつ誠意を持って取引する。操作、隠蔽、または謝礼の授受によって誰かを不当に利用したり、特権情報や機密情報の誤った取り扱いや乱用に関与したりしない。
- パートナーとお客様の情報を保護することで、双方のプライバシーを守り、許可された方法でのみこれを使用する。
- 直接的にも間接的にも、政府関係者に対して価値あるものの提供を申し出たり、約束したり、強要したり、提供の許可を与えたりしないよう注意する。
- 規制当局、政府関係者、監査人に提出する報告書および文書、ならびに社内において、公正、明確、正確で、かつ分かりやすい開示を適時提供する。
- 顧客に対する敬意・礼儀を忘れず、丁寧に接する。

サステナビリティに関する責任

- グローバル市民としてのAssurantの責任を認識する。自分たちが働き生活する地域社会に還元・貢献できるよう努め、当社のビジネス上の意思決定や事業運営による環境への影響を軽減するため、各々の役割を果たす。
- 政治活動や慈善寄付が、適用される法律、規制、Assurantのポリシーに準拠していることを確認する。

目次

The Assurant Way、当社の価値、および規範の目的

Assurantの価値	9
規範について	9
倫理規定の管轄	10
例外的な状況下において認められる免除	10
法の遵守と顧客への公正な対応	10

正しいことを行う責任

良い判断を下す	13
声を上げる：質問と懸念の共有	13
マネージャーの責任	15

従業員に対する責任

ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン	17
職場の衛生と安全	17

Assurantおよび株主に対する責任

知的財産の保護	19
機密情報の保護	20
情報技術とサイバーセキュリティ	21
人工知能	21
資産の保護	21
インサイダー取引	22
利益相反の回避	23
贈答品、出張、接待	24
ソーシャルメディアと外部とのコミュニケーション	25

パートナーおよび顧客に対する責任

ビジネスパートナー	27
プライバシーとデータ保護	27
マネーロンダリング、テロ資金供与、経済制裁	28
公正な競争と反トラスト法	28
贈収賄防止および汚職防止	28
政府関係者とのやり取り	29
輸入、輸出および反ボイコット法	30

サステナビリティに関する責任

慈善組織	33
人権	33
気候	33

その他のリソース

主な定義	35
------------	----

The Assurant Way、当社の価値、 および規範の目的



Assurantでは、私たちの文化が成功の秘訣です。当社は既存の枠にとらわれないやり方を重視しており、当社はこれを「The Assurant Way」と呼んでいます。The Assurant Wayの4つの要素：**当社の目的**、**当社の価値観**、**当社のコミットメント**、そして**当社のビジョン**は、当社の企業文化をユニークなものにするものです。



確固たる当社の価値観

当社の価値観は、顧客をサポートし、互いに協力し合う際の指針となるものです。これらは、私たちが日々、誠実に業務を遂行し、信頼関係を構築する際に使用される永続的な原則です。

- **常識**- 私たちは、当社がサービスを提供するクライアントと消費者の生活を円滑に維持するための実用的な解決策を模索します。
- **良識**- 私たちは共感する心と敬意をもって人々に接し、正直さと透明性を大切にします。また、誠実性を持って行動し、常に正しいことを行うよう努めます。
- **「当たり前」にとらわれない思考** - 現状に満足することはせず、常に多様な視点を求め、さらなる高みを目指し、成功を重ねていくための方法を常に模索します。
- **卓越した成果** - 私たちは、あらゆる機会に積極的に取り組み、適時に正しい判断を下し、期待を上回るような成果を成し遂げます。

規範について

Assurant, Inc.およびその子会社（総称して「Assurant」）で働く従業員、その代表者、Assurant役員、および取締役は、業務遂行規範を守り、誠実性の精神を体現する義務を負います。当社の業務遂行規範および経営倫理規定は、「規範」または「行動規範」とも呼ばれ、Assurantの従業員、役員、取締役に適用されます。すべての従業員、役員、取締役は、採用時、および以降毎年、規範を見直し、これを理解し、遵守し、規範トレーニングを完了していることを証明する必要があります。一般的に、コンサルタント、現地代表者、代理店、契約社員や派遣社員には、サプライヤー行動規範に定める本規範の基本原則に従うことが求められます。

本規範には、倫理的な決定をする際の指針となる情報、主要な用語の定義へのリンク、Q&A、関連するポリシーへのリンクが記載されています。ただし、日々の業務において生じ得るすべての疑問に対する回答や、関連する全てのポリシーが記載されているわけではありません。特定のポリシーが存在しない場合は、適切な判断を下し、本規範の精神を遵守し、質

問や懸念事項がある場合は、上司、人事組織の担当者、または倫理オフィスに支援を求める必要があります。

なお、本規範は、雇用継続の権利を生み出すものではなく、雇用契約でもありません。この規範は従業員が理解すべきものであり、適用される法律および規制に準拠した生産的な職場環境を維持するという当社の目的に従い、Assurantにより適用されます。

また、従業員は、これらを含むAssurantのポリシーが以下のことを行わない(またAssurantはこれを以下のことには適用しない)ことを理解するものとします。(i) 従業員がセクシャルハラスメントや性的暴行に関する紛争、またはその他の違法または危険な会社の行為や慣行について話し合う権利を制限すること。(ii) 従業員が、雇用機会均等委員会、国家労働関係委員会、証券取引委員会、法執行機関、または法律の執行を担当する連邦、州、または地方機関が実施する調査または手続きに連絡を取ったり、告訴や苦情を申し立てたり、自発的にまたは召喚状やその他の情報要求に応じて文書や情報を提供したり、協力したり、参加したりすることを妨げること。また、裁判所の訴訟または仲裁において証言したり、証拠を提供したり、召喚状や証拠開示要求に応じることを妨げること。または(iii) 非管理職、非監督職の従業員が、労働組合への加入、支援、結成、交渉、ピケ張り、ストライキ、その他の相互扶助や保護のための活動への参加など、NLRA第7条または同様の州法の下で保護されている協調活動に従事することを妨げること、または従事することを拒否すること。これには、賃金、労働時間、福利厚生、またはその他の雇用条件に関して合法的な手段で取得した情報を使用または開示することが含まれますが、情報が従業員の職務の一環として会社から機密情報として従業員に委託された場合は除きます。

業務遂行規範および経営倫理規定の管轄

倫理オフィス(倫理・コンプライアンス部門の一部門)が管轄する当社の規範は、倫理的な意思決定をする上で最も重要なリソースとなる有効な文書です。なお、本規範および一部の関連文書は、Assurantの事業において使用される言語に翻訳されています。

例外的な状況下において認められる免除

倫理オフィスは、必要に応じて、グローバル倫理・コンプライアンス責任者または法務部最高責任者との協議の上、本規範の解釈を提供することがあります。本規範の免除や例外は、例外的な状況下でのみ認められます。すべての免除や例外は、上司およびグローバル倫理・コンプライアンス責任者の書面による事前承認が必要です。Assurantの取締役会または取締役会の委員会のみが、取締役または執行役員に対し、規範の遵守を免除することができます。このような免除が認められた場合は、証券取引委員会およびニューヨーク証券取引所に関する規則を含むすべての適用法および規制に従ってかかる旨が速やかに開示されます。

法の遵守と顧客への公正な対応

Assurantは、厳密に規制された環境下で事業運営に従事しています。行動規範は、法律や規制により許可される範囲で、当社が事業を行うすべての国に適用されます。当社が事業を展開する上で従うべき法律や規制を認識し、これらを遵守することは、当社事業の重要な要素であるだけでなく、私たち自身にとっても不可欠です。法律の文書のみならず、法の精神やその意図にも従うことが重要であることを常に意識する必要があります。法律に違反したり、道義に反したりした行為・慣行、不正行為、および悪意ある行為・慣行に関与することは、顧客や一般市民の信頼を損ない、当社の評判が落ちることに繋がる場合があります。また、これらの行為により、規制当局による批判を受けたり、法的措置が講じられたり、罰金・罰則が適用されたり、その他のマイナスな影響が当社にもたらされたりする場合があります。

Q&A

Q: 法律は非常に複雑で、さまざまなものがあり、多岐にわたる分野を対象としています。小さな違反等が無いようにするにはどうすれば良いですか。弁護士でない私が全ての法律を理解することは難しいことだと思うのですが。

A: 自分で判断することを怠ってはなりません。直感的におかしいと思うような場合、あるいは確信が持てない場合は、行動する前に質問してみましょう。また、各々の業務に関わる細かい規則を理解することも一人ひとりの義務です。法律や当社の基準またはポリシーに関する説明が必要な場合は、遠慮なく倫理オフィス、コンプライアンス部門、法務部門に連絡してください。



本規範またはAssurantのポリシーのいずれかの部分が法律または規制と矛盾する場合、かかる法律または規制が優先されるものとします。従業員には、それぞれに適用される法律や規制を知り、これを遵守することが求められます。疑問が生じた場合は、コンプライアンス責任者、倫理オフィス、または人事組織のメンバーに相談してください。会社のポリシー、本規範、法律などに違反すると、解雇を含む懲戒処分の対象となる場合があります。

マネージャーについて

マネージャーには責任があります。

Assurantが素晴らしい職場であることを保証し、当社の文化、評判、ブランドを守るため、マネージャーは重要な役割を担っています。

マネージャーは支援を受けることができます。

特定の状況ですべきことが分からない場合は、Assurantのポリシー、人事組織、行動規範、倫理・コンプライアンスヘルプラインなどのリソースを利用できます。

マネージャーは意見を述べることができます。

不審に思うことなどがあれば、声を上げて懸念を共有できます。Assurantは、マネージャーが抱える懸念に関心を持っており、従業員に対する報復を容認しません。

正しいこと を行う責任



当社の成功は、私たちが日々下す判断の質にかかっています。Assurantの従業員、役員、取締役として行う各決定の前に、私たちの行動が互いに、あるいはお客様、ビジネスパートナー、社会全体、そしてAssurantにもたらし得る影響について考慮する必要があります。

良い判断を下す

一筋縄ではいかないような状況や、困難な状況、または明白でない状況に直面した場合、どうすれば最適な決断を下すことができるでしょうか。倫理的なジレンマはどのように乗り越えればよいでしょうか。本規範は、あらゆる状況において取るべき行動を記載したものではありませんが、良い判断を下し、必ずしも答えが明確でない複雑な状況を乗り切る際の指針となるものです。

以下の項目を自問してください。

- 下そうとしている判断は、Assurantの価値観や本規範に合致したものでしょうか？
- 決定を下す上で活用できる十分な情報はるか？
- 自分の判断について包み隠さず家族に説明できるだろうか？自分の下した判断の責任を負う覚悟があるだろうか？

いずれかの質問に対する回答が「いいえ」である場合や、確信が持てない場合は、行動を起こす前に指示を仰いでください。

声を上げる：質問と懸念事項の共有

従業員の皆さんには、変化をもたらす力があります。会社としての私たちのあるべき姿、私たちの価値観、およびThe Assurant Wayに合致しないものを見聞きしたりすることがあるかもしれません。こうした状況では、声を上げなければなりません。説明を求めるために質問する場合でも、懸念事項を報告する場合でも、頼れるリソースや人材がいることを知っておいてください。当社は、当社従業員や当社を代表して行動する他者による不正行為を特定し、適切に対処するための、迅速で信頼性のある公正なプロセスを提供しています。

Assurant 倫理・コンプライアンス
ヘルプライン (helpline.assurant.com)

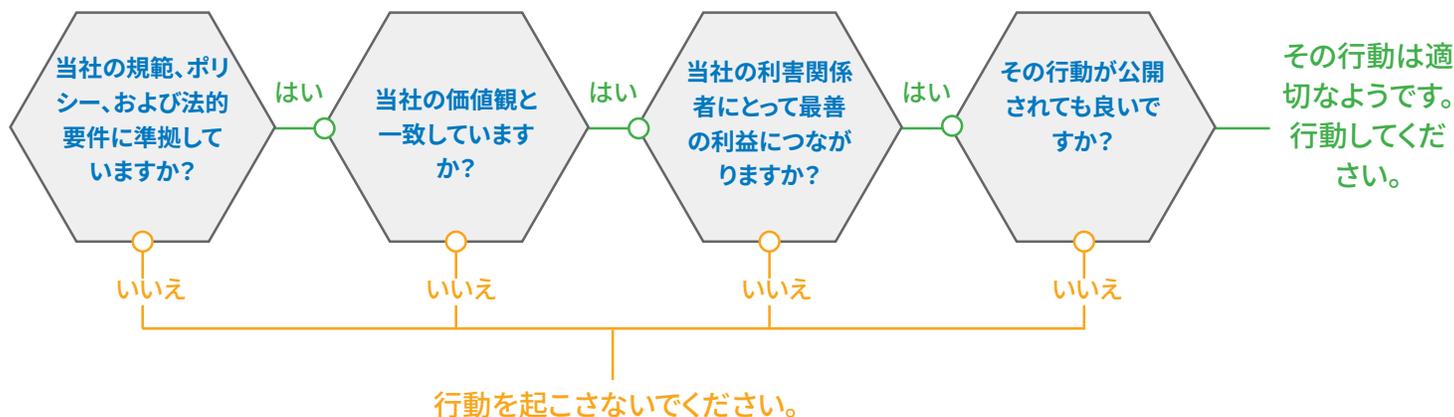
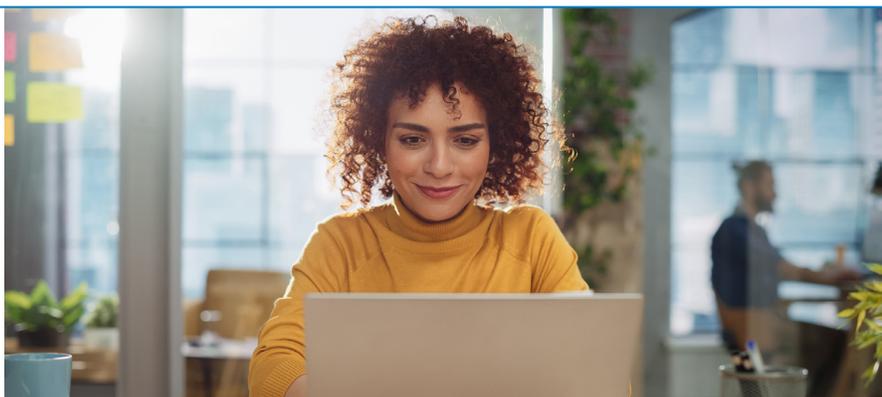


本規範と役立つリソースにオンライン上でアクセスできます (ethics.assurant.com)。



何をすべきか迷ったときには、最適な手段を決定できるよう、以下の質問をしてみてください。

確信が持てない場合は、支援を求めてください。



本規範や社内規定、あるいは法律や規制に違反する可能性のある行為を目にした、これを認識したりした場合、私たちは声を上げる責任を負います。本規範のいかなる部分も、法律違反の可能性を関連する政府当局に報告することを妨げるものではありません。

倫理・コンプライアンス部門への連絡方法

ウェブ：helpline.assurant.com

電話番号のオプションについては、オンラインのヘルプラインにアクセスしてください。

Eメール：ethics@assurant.com

翻訳者がいるため、報告は希望する言語で行うことができます。ヘルプラインに報告された懸念事項は文書化され、倫理オフィスに引き継がれ、必要に応じて検討・調査されます。

声を上げるには：

- **直属のマネージャー**：多くの場合、はじめに相談すべき相手は直属のマネージャーです。マネージャーは、あなたが訴える問題を理解し、これに対処することのできる立場にいます。
- **人事組織**：このチームは、人事・労務関連の懸念事項を解決する際にサポートを提供します。
- **倫理オフィス**：質問や懸念事項がある場合に内密に話し合いができるよう、以下のオプションが設けられています。
 - 地域のコンプライアンス担当者に連絡する。
 - 倫理オフィスに電子メールを送信する（ethics@assurant.com）。
- ウェブポータルからAssurant倫理・コンプライアンスヘルプラインを利用して、質問や懸念事項を報告する（現地法により認められている場合は、匿名でも可）：helpline.assurant.com
 - また、ヘルプラインへの連絡用の各地域の電話番号も、ウェブポータルに掲載されています。
 - ヘルプラインに匿名でテキストメッセージを送信（786-755-1030（現時点では米国でのみ利用可））する。

倫理オフィスに懸念事項を報告するとどうなりますか？

- 報告内容の聴き取りが行われます。
- 懸念事項に関する報告がなされた後は、徹底した調査が行われ、報告内容は可能な限り秘密情報として扱われます。
- 懸念事項に対処するための適切な行動を取った上で、フォローアップを行います。
- プロセスや人事に関する問題などの一部の場合、人事組織やその他の社内パートナーとの共同作業による調査が行われますが、その他の問題については、倫理・コンプライアンス部門が実施する機密調査の対象となります。

報告の経緯にかかわらず、懸念を立証するのに十分な証拠が見つからない場合であっても、Assurantは誠意をもって違反の可能性について報告した人物や調査に参加した人物に対する報復行為を禁止しています。

調査

私たちは、不正行為に関するあらゆる報告を真摯に受け止め、すべての懸念事項を速やかに検証し、必要に応じて調査を行います。また、誠実、慎重かつ公平に調査を行い、公正を期し、徹底した調査を行い、報告内容の機密性を確保します。従業員の皆さんには、あらゆる調査に全面的かつ誠実に協力することが求められます。

Q&A

Q:「誠意を持って」懸念を報告するとはどういうことですか。

A:「誠意をもって」問題を報告するとは、(たとえ後になって、その考えが間違っていたことが判明した場合でも) 報告しようとしている情報が正確かつ事実であるという確信をもって報告することです。報告内容が事実でないことを認識している場合、および事実であることを疑っている場合に申し立てを行うことは、当社の規範に反する行為です。当社は、率直に懸念事項を報告した従業員を保護します。

質問や懸念事項の内容によっては、別の人物に連絡できる場合もあります。詳細については、懸念事項の提起と報告に関するポリシーを参照してください。

マネージャーの責任

リーダーであるマネージャーには、チームの文化、The Assurant Wayおよび職場環境をつくるという特別な責任があります。従業員は、誠実に従業員を率いるリーダーを求めています。マネージャーが行う意思決定、懸念事項や異なる意見への対応、さらには良くない知らせに対する対応は、チームや顧客、ステークホルダーとの信頼関係の築くための基盤となります。また、リーダーの成功、そしてチームの成功は、ともに構築していく信頼関係にかかっています。

- 本規範をよく理解するようにしてください。
- 倫理と誠実性の重要性について定期的にチームに説明し、倫理的に業務を行うことが求められている旨を明確にします。
- 倫理的な意思決定と適切な判断を自ら率先して行い、模範を示しながら指導してください。
- 重要な結果を残すためには、正しい方法、つまり倫理的で Assurant のポリシーに則った成果を出す必要があることをチームに理解させます。
- 従業員の質問に耳を傾け、質問に答えたり、答えられる人に従業員を紹介したりします。
- 規範や法律に対する実際の違反や違反の疑いがある場合は、検証および精査されるよう、エスカレーションしてください。
- また、報告を行った従業員が、いかなる形の報復からも保護されるようにしてください。

懸念事項に関する相談を受けた場合、あなたは、その内容を聞き、行動を起こす特別な責任を負います。

相談者の信頼を維持し、Assurantを守るため、懸念事項を適切に処理することが重要です。

Q&A

Q: マネージャーとして、倫理的な行動を促すにはどうすれば良いですか。

A: まずはマネージャー自身が模範となることが大切です。職場における倫理に関するディスカッションをチームミーティングに盛り込みましょう。チームメンバーが懸念を抱えている場合は、気軽に質問できる雰囲気を作りましょう。また、本規範に従って、従業員が誠実に懸念事項を報告した場合は、報復を受けないことを改めて従業員に伝えましょう。オンラインの倫理規定サイトと、Teamsの人事部リソースサイトの役立つマネージャーリソースを活用してください。

Q: マネージャーとして、管理下にある従業員とコンプライアンス問題について話し合うことは求められていますか。

A: はい。マネージャーであるあなたは、従業員にとって最も重要なコンプライアンスのリソースです。あなたは、組織として当社が直面しているリスクについて貴重な情報を提供する窓口であると同時に、従業員が質問をしたり、懸念事項を報告したりするための窓口でもあります。倫理的に行動するだけでなく、自分が何をしているのか、なぜそうしているのかを、チームに説明する必要があります。



当社関係者に対する 責任



当社は、誰もが最高の仕事ができるような職場環境を維持しています。安全な職場では、信頼感が生まれ、全員が貢献し成功できます。**差別、嫌がらせ**、および危険な労働条件は、当社の価値観に反するものであり、Assurant内で許容されることはありません。



Assurantでは、当社の業務に関与するあらゆる個人による、またはこれらに対するハラスメントは厳しく禁じられています。これには、**セクシャルハラスメント**、いじめ、または脅迫を含み、これらに限定されない、従業員、応募者、ベンダー、請負業者、顧客、およびAssurantに関与または協力するその他の第三者に対するハラスメント行為などが含まれます。

ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン

私たちは、違いがあるおかげでともに仕事をすることができます。違いがあるにもかかわらず仕事ができるものではありません。私たち一人ひとりが、多様性を受け入れ、みなが互いに尊重し合える職場づくりをする責任を負っています。当社とともに多様なチームを構築し、チームのエンパワーメントを大切にします。

私たちの責任:

- すべての従業員の貢献を大切にし、一人一人の多様なアイデンティティ、能力、強み、違い、経験を大切にする。
- **嫌がらせ**やその他不適切な行為のない、安全で、従業員が互いに協力し合い、尊重し合う職場環境を作り、これを維持することに尽力する。
- 職務上の資格、功績、会社のニーズに基づいて雇用を決定する。
- **保護された特性**や**保護された活動**に基づくものを含む、あらゆる差別を回避・防止する。
- 同僚、顧客、および第三者に対し、公正かつ敬意をもって接する（これは、当社が大切にしていることであり、当社の商習慣を示す際の重要な要素でもあります）。
- 障がい者の雇用に力を入れ、適格な従業員に対し合理的な配慮を行う。

Q&A

Q:同僚がハラスメントの被害に遭ったのでは、と心配しています。これを報告したら、どうなりますか。

A:私たち一人ひとりがプロ意識をもって行動し、差別、ハラスメント、報復に関する懸念を、経営陣、人事組織、または倫理・コンプライアンスヘルプラインに報告する必要があります。報告後、あなたの懸念に関する調査が行われます。差別やハラスメントに関与したことが判明した従業員は、解雇を含む懲戒処分の対象となります。差別やハラスメントを報告したり、

関連する調査に参加したりした個人に対する脅迫や報復は禁止されています。

職場の健康と安全

私たちは、ビジネスパートナー、コミュニティ、そして互いを大切にし、守るため、最高水準の安全の確保に取り組んでいます。当社では、従業員一人ひとりが、安全、安心、健全な職場を維持し、従業員と事業を守る責任を負っています。

私たちの責任:

- 安全でない状況や暴力による脅威を目にした場合は、直ちにマネージャー、人事組織パートナー、**グローバルセキュリティ**に連絡する。
- 職場の緊急行動計画を定期的に確認する。
- Assurantの業務につく際に、Assurantの**敷地内**やオフサイトのイベントや活動に**武器**を持ち込まない。
- アルコールおよび薬物に関するポリシーを遵守し、Assurantを代表して行動する際には、Assurantとそのブランドに相応しい行いをする。
- 必要に応じて、会社のバッジを提示・スワイプ（機械読み取り）する。適切な許可を得ていない者の侵入を許可しない。
- 非正規社員やその他ともに業務を行う人々が、当社の安全とセキュリティの手順を理解し、これに従えるよう支援する。
- 有罪判決報告義務ポリシーの規定に従い、すべての刑事有罪判決を人事組織に報告する。

その他のガイダンスについては、Assurant ISO 11安全な施設に関するポリシーを参照してください。

Assurantは、職場の場所を問わず、職場や業務中における暴力による脅しや暴力行為を容認しません。暴力による脅しや暴力行為の報告に関する情報については、**グローバルセキュリティ**に問い合わせてください。

Assurantおよび 株主に対する責任



グローバルに展開する上場企業として、当社には、株主の信頼を維持し、会社を力強く繁栄させるため、Assurantの資産、システム、記録、情報、利益、および社名を保護する義務があります。

知的財産の保護

革新的なアイデアとソリューションは、Assurantの成功における中心的要素です。私たちは、Assurantの著作権、特許、商標、**知的財産**、契約条件、規制・法的要件に従い、当社のクライアント、ビジネスパートナー、競合他社、サプライヤー、顧客の知的財産を尊重し、これらを保護します。

私たちの責任：

- 知的財産を正当なAssurantのビジネス目的にのみ使用し、決して個人的な利益、個人的な使用、または非ビジネス目的には使用しない。
- Assurantの知的財産は、適切な管理が行われている場合にのみ Assurant以外の人々と使用・共有する。
- 第三者の資料を使用する前に、適切な権利と許可を得ていることを確認する。
- Assurantのブランドとロゴを保護し、[グローバル知的財産ポリシー](#)を含む関連するポリシーとガイドラインに従ってこれらを使用する。

Q&A

Q: 他者の知的財産権を尊重するとはどういう意味ですか。

A: Assurantは、自社が所有していない知的財産を、自社の製品、サービス、広告において不法に使用することはありません。また、私たちは、他者や Assurant が所有していない資料を扱う際には、Assurantの契約上の義務と倫理上の義務を全うします。



会社の記録には以下が含まれます。

- 顧客またはクライアントの情報
- 販売情報
- 給与情報
- 契約書
- 出張報告書と経費報告書
- プロジェクトファイル
- 会計および財務データ
- 測定と業績の記録
- ポリシー
- 事業の通常の過程で維持されるその他すべての記録

私たちはそれぞれ、[記録および情報管理ポリシー](#)および[グローバル記録保持スケジュール](#)に従って、Assurantの記録を適切に管理および保存する責任を負います。

- あらゆる記録の完全性と信頼性を維持する。
- 適切な期間 (保持期間) 記録を保管する。
- 記録が損傷したり破壊されたりしないよう保護し、[リーガルホールド](#)の対象となっている場合は保管する。
- 記録を保管する際は、保存期間中を通して、記録を探せるようにし、読める状態にしておく。
- 保存期間が終了した記録は、適切な方法で速やかに廃棄する。
- 追加情報とガイダンスについては、記録および情報管理オフィス rim.office@assurant.com まで問い合わせてください。

機密情報の保護

当社は、機密情報が財務、個人、または事業に関連するか否かを問わず、機密情報が適切に保護されるという、取引関係にあるクライアント、サプライヤー、および企業の信頼を得て業務を行っています。そのため、当社は、こうしたデータを大切に扱い、これを慎重に保護します。

私たちの責任：

- 機密情報は慎重に取り扱い、公共の場で話すことや必要のない人と話し合うことは避ける。
- Assurantを退職した後も、機密を保持し、退職前に機密情報を返却する。
- ビジネスパートナーや顧客、サプライヤー、および元雇用主の機密情報を保護し、事前の法的承認なしにこれらの情報を使用しない。本規範のいかなる部分も、法律違反や規制上の違反の可能性に関連する政府当局に報告することを妨げるものではないことを理解する。

Q&A

Q:業務目的で、機密情報を自分のメールアドレスを含む個人のメールアドレスに送信することは許容されますか。

A: いいえ。会社の機密情報を個人のメールアドレス（または未承認のメッセージングサービス）に送信することは許可されません。会社に関連するすべての情報は、データの完全性と機密性を保護するため、承認された通信チャネルまたは安全な通信チャネルを通じて取り扱う必要があります。

Q:機密情報にはどのような形態のものがありますか。

A: 書面、口頭、電話、または電子形式があります。機密情報は、当社や当社が取引する顧客やサプライヤーおよび企業に関係する場合があります。

Q:どの情報が機密情報であるかはどのように判断できますか。

A: 当社およびそのビジネスに関するすべての情報（過去および既存の顧客、ビジネスパートナー、サプライヤー、取締役および従業員だけでなく、見込み顧客、ビジネスパートナー候補、サプライヤー候補、取締役候補および従業員候補に関する情報を含む）は、機密情報でないことが明確でない限り、機密であるとみなすことがベストプラクティスです。

Q:元雇用主の有益な情報にアクセスできるのですが、これをAssurantで利用できますか。

A: できません。元雇用主の機密情報を共有することは倫理に反しており、これを行った場合、本人およびAssurantが法的責任を負う場合があります。

元雇用主の機密情報が自らの行動によらず既に公開されている場合を除き、機密情報は開示しないでください。

機密情報を 開示する前に：

- 適用される法律、規制、および会社のポリシーや手順に基づいて、開示が許可されていることを確認する。
- 機密情報を受け取ることが許可されており、業務遂行のために当該情報を知る必要がある人へのみ開示する。
- 共有する機密情報の量は、所定の事業目的の達成に必要な量のみ限定する。
- Assurant外部の人と機密情報を共有する場合は、Assurantが承認した秘密保持契約書、守秘義務契約書、または会社が承認した適切なプライバシー条項（必要な場合）を含むその他の契約書を締結する。
- 受領者が、当該情報が機密であること、およびその使用または流布に関するあらゆる制限について知っていることを確認する。Assurantの法務担当者との協議の上受け取ったり、共有されたりした情報は、他者と共有する前に、法務担当者の指示を仰ぐ。

情報技術とサイバーセキュリティ

当社は、Assurantの技術リソースを責任をもって管理します。当社の情報技術は事業運営にとって重要であり、事業目標を達成するため、業務をより効果的に遂行できるようにします。これらのリソースはAssurantが所有するものであり、私たちは、これらをサイバーセキュリティの脅威や脆弱性から守るため、責任をもって安全に使用します。

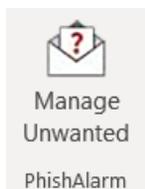
私たちの責任:

- Assurantが承認したハードウェアやソフトウェア、およびその他のITサービスのみを使用する。
- 出張やリモートワークの際には、ノートパソコンやその他の機器のデータを保護し、セキュリティを確保する。
- 会社から提供された技術リソースを使用する際には適切に判断し、Assurantの情報に対する不正アクセスを防止する。
- Assurantのリソースを使って不適切なやり取りを行ったり、違法サイト、またはわいせつなサイトにアクセスしたりすることは避ける。
- セキュリティインシデントの速やかな報告を含め、[許可される使用および情報セキュリティポリシー](#)のガイドラインに従う。

Q&A

Q: Assurant のメールアカウントで、差出人不明の電子メールを受信しました。会社に支給されたパソコンを使用している時に、そのメッセージに添付されていたファイルをクリックしてしまったかもしれません。ファイルはダウンロードされていませんが、すでに削除しました。他にやるべきことはありますか?

A: はい。ノートパソコンやネットワークが危険にさらされている可能性があるため、直ちにAssurant情報セキュリティチームに[報告](#)してください。Outlookの「迷惑メールの管理」機能を使用して、Assurant のセキュリティチームに通知してください。



資産の保護

財務資産、記録資産、情報資産、技術資産、または物理的な資産など、当社の資産は、顧客に対する当社の約束を果たすための貴重なものです。私たち一人ひとりが、[詐欺](#)、盗難、紛失、乱用から当社の資産を保護する責任を負っています。

私たちの責任:

- 内部統制、適用法、規制、会計慣行に従い、金融取引を正直かつ正確に文書化し、これを報告する。
- Assurantのリソースを詐欺、浪費、乱用から保護し、疑わしい行為があればすぐに報告する。
- 会社の資産 (Assurantが所有するコンピュータ、会社のクレジットカードなど) を誤用、紛失、破損、サイバーセキュリティの脅威、盗難から守る。
- 会社の記録と会計を正確に維持するよう努める。その他の情報については、記録および情報管理ポリシーを確認してください。
- 私たちは、従業員、お客様、クライアント、その他の第三者による詐欺や横領、および不正行為の疑いがある場合には、懸念事項の提起と報告に関するポリシーに従い、直ちに報告します。

人工知能

Assurant は、クライアント、顧客、従業員、その他の利害関係者の生活を向上させる技術革新に取り組んでいます。私たちは、AI の責任ある倫理的な使用は、私たちの生活や業務に好ましい革命をもたらし得るものであると確信しており、倫理的な AI ソリューションの使用と提供を通じて、すべての関係者の信頼の獲得・維持に努めています。

私たちの責任:

- 差別や偏見、不平等を助長せず、人種、性別、宗教、性的指向、能力、その他の保護対象カテゴリに関係なく、すべての個人にとって公平な AI ソリューションの提供に取り組む。
- 知的財産権、当社の AI ソリューションにおける個人データ、機密情報、専有情報の収集、使用、保管を管理する企業ポリシーの遵守にも尽力する。

- 法律で義務付けられている場合、およびその他適切な場合、機密保持義務と当社および第三者の知的財産権とデータセキュリティの利益を尊重しながら、当社の AI システムの仕組みとその使用方法について明確な説明を提供し、開示する。AI テクノロジーを悪意のある目的、誤情報、またはプロパガンダのために使用することを一切容認しない。
- 必要に応じて結果を検証し、有害な影響や意図しない結果を適宜是正するなど、AI テクノロジーの使用に関する当社の行動と決定に責任を持つ。AI テクノロジーの管理とその監視において、関連する人員、技術分野、および事業部門の洞察を考慮する。
- 重要な未公開情報を知りながら、他者にその会社の証券を売買するよう示唆することはしない。
- 共有が必要であり、機密保持契約などの法的保護が実施されている場合を除き、重要な非公開情報を Assurant 社外で共有することはしない。
- インサイダー取引法に違反した Assurant の取締役、役員、従業員は、解雇を含む適切な懲戒処分の対象となり、刑事、民事、その他の罰則の対象となる場合があることを認識する。

インサイダー取引とみなされる可能性のある取引を行う前に、執行機関や他者が、その取引をどう判断するかを慎重に検討する必要があります。当社や他社の株式、債券、その他の有価証券の取引が適切かどうか確信が持てない場合は、取引を行う前に、当社のインサイダー取引ポリシーに明示されているセキュリティ責任者または法務最高責任者に確認してください。

インサイダー取引

私たちは、業務を通じて Assurant や取引先の **重要な未公開情報** を知る可能性があることを認識しています。当社は、Assurant の **インサイダー取引ポリシー** および証券法（インサイダー取引法を含む）を遵守することで、投資家および一般の人々との信頼関係を維持しています。つまり、Assurant に関する重要な未公開情報を知っている場合、または Assurant での雇用を通じてそのような情報を知った場合は、Assurant または他の会社の証券を取引しません。

当社はこのような機密データを保護し、金銭的利益のためにこのような機密データを使用することはありません。また、これらの機密情報の共有を固く禁じています。会社のインサイダー取引ポリシーの対象となる従業員およびその他の者は、詳細についてポリシーを参照する必要があります。

私たちの責任：

- **インサイダー取引ポリシー** および法律（該当する場合、事前承認手続きおよびブラックアウトポリシーを含む）を遵守する。
- Assurant や他社に関する重要な未公開情報（内部情報）に基づいて、Assurant での業務を通じて株式を売買することはしない。
- Assurant の非公開情報は、その機密性を保護し、知る必要がある Assurant の従業員とのみ共有する。

Q&A

Q: 自社に関する重要な未公開情報を自分が認識しているかどうかは、どうすればわかりますか。

A: Assurant の株式の売買を判断する投資家にとって重要な情報であれば、それは重要な未公開情報です。こうした情報には、財務結果、事業の買収または売却、上級管理職の交代、政府の調査、主要顧客の変更、製品の発売などに関する情報が含まれる場合があります。自分が重要な情報を持っているかどうか分からない場合は、取引を控え、上司や法務部門に相談してください。

利益相反の回避

Assurantの業務を行う際、私たちには、客観的で偏りのない意思決定をする責任があります。[利益相反](#)は、私たちの個人的な利益がAssurantの利益に相反したり、相反したように見えてしまう場合にも発生する場合があります、これにより、客観的かつ効果的な業務の遂行が困難になる恐れがあります。

私たちの責任:

- Assurantとの間に利益相反が生じたり、生じていると捉えられることにつながる行動や判断は避ける。
- Assurantでの地位を不当な個人的利益のために利用することはしない。
- 利益相反があるという誤解も悪い結果を招く恐れがあるため、Assurantのリソースや影響力を不適切に利用することはない。
- その他のガイダンスについては、[利益相反ポリシー](#)を参照してください。
- 利益相反の可能性が生じた場合は、[利益相反開示プロセス](#)を通じて速やかに開示してください。

Q&A

Q: 夜間や週末に副業をしたいと思っています。Assurantの業務とは無関係なのですが、開示する必要はありますか。

A: 副業を始める前に、副業があなたの役割や Assurant の利益を妨げないよう、マネージャーに通知する必要があります。副業をすることを決定した場合、開始前に[開示書類の提出](#)を Assurant倫理オフィスに行い、承認を得る必要があります。副業は、Assurant での職務遂行にいかなる形で支障をきたすものであってはなりません。また、Assurant の競合他社の業務を行うことはできません (その他の制限が適用される場合があります)。追加情報とガイダンスについては、[利益相反ポリシー](#)を確認するか、倫理オフィス ([ethics\(5\)@assurant.com](mailto:ethics(5)@assurant.com)) に問い合わせてください。

Q: 地元の非営利団体の理事会で役員を務めるよう依頼されました。これを報告する必要はありますか。

A: 組織 (Assurant 所有の会社以外) の取締役会に参加することに同意する前に、上司と話し合ってください。取締役としての職務に就くことを決定した場合は、開示手続きを通じて倫理事務局の承認を求め、かかる職務において求められるこ

とを理解し、かかる職務が実際の利益相反または利益相反であると捉えられ得る事象を生じさせるか、職務に支障をきたすかどうかを判断してください。

Q: 私のチームで人員を募集しており、候補者の面接を依頼されました。候補者の一人は私の親族です。上司や採用担当者に伝えるべきでしょうか。

A: はい。あなたは、候補者との関係を上司に開示し、採用プロセスから身を引く必要があります。これにより、公平性と中立性を確保することができます。プロフェッショナルで公正な労働環境を維持および促進するため、Assurant では、利益相反、縁故主義、またはえこひいきの印象を与えないよう、直系家族が他の従業員 (または臨時従業員や請負業者などの非従業員) と同一の指揮命令系統に就くことは許可されていません。

開示すべき利益相反の可能性の状況

- Assurantで血縁者と業務を行う場合
- Assurantのベンダーやクライアントで働く血縁者がいる場合
- Assurantの競合他社と共同で、または競合他社で働く場合
- Assurantと競合するビジネスを開始する場合
- Assurant以外で働く、あるいはコンサルティング業務を行う場合
- Assurantのベンダーまたはクライアントと、大きな金銭的利害関係がある場合
- 上司や部下と交際している場合、または恋愛関係にある場合
- 理事会や業界団体で活動している場合

詳細については、[利益相反ポリシー](#)を参照してください。

贈答品ポリシー

従業員、役員、または取締役は、次に該当する場合、食事や接待を含む贈答品（現金を除く）を受け取ることができます。

- 価値が妥当なものである
- 通常のビジネスプロセスの一部である
- 違法でない
- 授受が頻繁でない

- 賄賂や見返り、または影響を与える意図があると解釈されないものである
- 良識と分別のあるものである

詳細については、[贈収賄および汚職防止ポリシーと贈答品、接待、歓待に関するポリシー](#)を確認してください。Assurant Foundation への寄付方法については、assurantcares@assurant.com まで問い合わせてください。

贈答品、接待、歓待

当社は、製品とサービスの質でビジネスの獲得に努めています。ビジネス上の礼儀には、贈答品、食事、接待など、価値あるものすべてが含まれ、これらはビジネスパートナーとの業務上の関係を強化することができます。ただし、不適当に高価なものや、透明性や正当な目的を欠くような贈答品、食事、および出張は賄賂または不適切であるとみなされます。これらを不用意に行くと当社の信頼が損われ、当社のビジネスに悪影響がもたらされるおそれがあります。

私たちの責任：

- 相手や組織に影響を与え、見返りを得ることを目的として業務において価値あるものを提供したり、求めたりしない。
- 業務上、価値あるものの授受を行う際は、個々の状況において合理的かつ適切なものに限定し、同一の個人や組織との間で頻繁に価値あるものの授受を行うことは避ける。
- 当社従業員は、必要に応じて、贈答品、接待、歓待の [開示](#) プロセスの承認を得てこれに従う。
- 当社の [規範および贈収賄および汚職防止方針](#) に反する、政府職員（国有・管理企業の従業員を含む）への/からの価値あるものの贈与または受け取りの申し出、約束、実行、および許可は行わず、事前に書面による地域コンプライアンス承認を得た後にのみ行う。

- 当社がAssurantに代わって慈善寄付を行う場合は、正当な慈善活動を支援するというAssurantのポリシーに従って行う。Assurant Foundationが資金を提供する寄付のリクエストについては、[こちら](#)から提出してください。
- 従業員のボランティア活動、寄付、マッチングギフトに関する追加情報については、Connect の [Assurant Cares ポータル](#) を参照してください。Assurant財団は、従業員の寄付額と同一の金額を慈善団体に寄付します。具体的なガイドラインについては、[こちら](#) をクリックしてください。
- 禁止されている、または望ましくないビジネス上の礼儀品は、[assurantcares\(5\)@assurant.com](mailto:assurantcares(5)@assurant.com) に連絡して Assurant Foundation に寄付することができます。
- 贈与または受領する贈答品は、[贈与、接待、および歓待に関するポリシー](#) に従って、贈与または受領の前に [開示](#) され、承認される必要があります。
- 受領者1人あたり25ドル以下の小売店、食品店、または一般的に使用されている同様のビジネスギフトカード（電子ギフトカードまたは商品券を含む）を授受することは許可されています（地域によっては制限があります）。いかなる状況においても、Assurantの取引相手または取引をしようとしている人物との間で、現金やギフトカードなど（Visa、Mastercard、American Expressなど）の現金同等物を贈答品として授受することは禁じられています。

ソーシャルメディアと外部とのコミュニケーション

ソーシャルメディアは私たちの生活に欠かせないものであり、社内(Connect、Engage など)で、または社外(Facebook、X など)で他の人とつながるための貴重なツールですが、これらはすべて[ソーシャルメディアポリシー](#)および[メディアおよび社外コミュニケーションポリシー](#)に従って使用する必要があります。また、社外向けのコミュニケーションは、当社が事業を展開する市場や地域、そして当社がサービスを提供する消費者や地域社会の間において、Assurantの評判に影響します。私たちは、明確で正確な情報を提供し、機密情報を開示しないよう注意を払います。

私たちの責任:

- オープンなアイデア、ディスカッション、研修、コラボレーションを歓迎し、当社の価値観とポリシーに沿って、互いへの敬意をもってやり取りを行う。
- [ソーシャルメディア](#)を正しく使用する責任と義務を私たち一人ひとりが負っていることを自覚する。
- 権限が与えられていない限り、ソーシャルメディア上でAssurantを代表して発言することはせず、個人の見解を述べる場合には、かかる見解が当社の公式な見解ではない旨を明示する。
- Assurantの機密情報や専有情報は決して開示せず、従業員向けの[ソーシャルメディア・ポリシー](#)を遵守する。
- オープンで透明性のあるやり方で、積極的に規制当局とコミュニケーションをとる。
- [メディアおよび外部コミュニケーションポリシー](#)を遵守し、メディアの連絡先を Assurant コミュニケーションチームに伝え、投資家およびアナリストの連絡先を投資家向け広報チームに伝える。
- 正式な業務として会社を代表してソーシャルメディアに関与するAssurantの従業員は、Assurant[ソーシャルメディアガイドライン](#)、Assurant[ブランドガイドライン](#)、およびその他のプロセスと慣行にも従うことが求められます。

Q&A

Q:XやFacebookなどのソーシャルメディアを使って、Assurantや自分の業務について発信するのが好きなのですが、Assurantには、これに関する規則はありますか。

A:ソーシャルメディアの利用時に覚えておくべき一般的な規則は、自分の発言の影響について考えることです。発信した内容は永続的に残り、簡単に他者に伝わりますが、当社の評判や同僚、顧客との関係に影響する可能性があることを常に念頭に置くようにしてください。ソーシャルメディアの使用時に、適切な許可を得ずにAssurantを代表して発言することは禁止されています。また、当社の事業、サプライヤー、顧客に関するAssurantの機密情報や専有情報を開示してはなりません。



ソーシャルメディアで行う個人的な活動に適用されるこれらのポリシーに関して不明な点がある場合は、ソーシャルビジネスチーム (social@assurant.com) に問い合わせてください。

当社パートナーと顧客に対する 責任



信頼は、すべての顧客、パートナー、および会社との関係の基盤となるものです。長期的なビジネス関係を築くため、当社は法律に従い、自分たちにしてもらいたいように、オープンで正直な、礼儀正しい方法で取引相手に接します。また、当社は、当社の製品やサービスに関する十分な情報に基づいて、顧客やパートナーが判断を下し、自分たちのニーズや状況に最も適した製品やサービスを選択できるようにしています。

ビジネスパートナー

当社は、倫理とコンプライアンス、[多様性と包括性](#)、人権、環境の持続可能性、および公正な取引への当社の取り組みを共有するビジネスパートナーとの信頼関係を大切にしています。

私たちの責任：

- 当社の評判の維持に取り組み、倫理的なビジネスの実施に努めているサプライヤー、顧客、その他のビジネスパートナーとのみ取引を行う。
- 誠実性、公正性、互いへの敬意、差別の排除の精神をもってビジネス関係を維持する。
- 機密情報の操作、隠蔽、悪用や、事実の詐称、その他の不公正な取引や不正行為を行うためにビジネスパートナーを利用することはしない。
- 他者を利用するためにビジネスパートナーと共謀することはしない。
- ビジネスパートナーの選定は、個人的関係や交友関係ではなく、客観的な基準とAssurantにもたらされる価値に基づいて行う。契約上の義務に加え、倫理とコンプライアンスにおける当社の高い基準を確実に理解してもらう。
- ビジネスパートナーが適用法や規制に違反している兆候がある場合は、注意を怠らない。
- 利益相反があると思われる状況があれば、すみやかに開示する。
- ビジネスパートナーの機密情報と専有情報を保護する。
- 契約を締結する前に、潜在的なサプライヤーおよび顧客に対して適切なデューデリジェンスを実施し、調達、[贈収賄および汚職防止](#)、および第三者リスク管理ポリシーに従う。米国については[ベンダーリスク管理ポリシー](#)を、英国・ヨーロッパについてはAssurant[ヨーロッパグループ第三者リスク管理ポリシー](#)を参照してください。その他の国に

については、関連するポリシーを参照してください。

- 事業を展開しているあらゆる国の[紛争鉱物](#)に関する規制を理解し、これを遵守する。

プライバシーとデータ保護

顧客のプライバシーを保護し、顧客が許可した方法でデータを使用する当社への顧客の信頼があってはじめて当社は成功することができます。そのため、当社は、当社に個人情報を託す従業員、顧客、クライアント、パートナー、およびその他の第三者のプライバシーを保護し、これを尊重します。

私たちの責任：

- 適用されるデータ保護およびプライバシー法に従う。
- 個人情報を適切に保護する。
- 正当なビジネス目的にのみ個人データを収集および使用し、当社の[グローバルプライバシーポリシー](#)および[国際データプライバシー標準](#)に従う。
- Assurant内の知る必要がある人とのみ、個人データを共有する。
- 第三者がAssurantのデータ保護およびセキュリティ基準に確実に準拠するようにする。
- [グローバル記録保持スケジュール](#)および[情報管理ポリシー](#)に従って個人データの記録を保管し、その後安全に破棄する。
- プライバシーインシデントやデータ侵害の疑いがある場合は、速やかに報告する。



マネーロンダリング、テロ資金供与、経済制裁

当社は、犯罪者が当社のビジネスシステムやプロセスを悪用して、さらに違法な活動に従事することのないよう注意しています。Assurantの従業員は、誰かが当社を利用して犯罪取引を偽装したり、いかなるマネーロンダリング行為にも関与したりしないよう策定された、適切なデューデリジェンス手順に常に従う必要があります。また、制裁措置またはテロリストウォッチリストに登録されている個人や団体との取引を行わないよう、第三者による審査を行っています。Assurantと取引をしようとしている第三者や、既に取り取引をしている第三者の評判に関する懸念がある場合は、コンプライアンス部門または倫理オフィスに連絡してください。

犯罪者にAssurantの製品やサービスを悪用させないため、私たち全員に果たすべき役割があります。これには、お客様を知る義務、疑わしい行為を特定して上司に報告する義務、ビジネス関係を通じて必要な文書を維持する義務、制裁対象の国、人物、企業との取引を上司に報告する義務などが含まれます。

公正な競争と反トラスト法

当社は、違法な商習慣や倫理に反する商習慣によってではなく、優れた実績によって競争上の優位性を追求します。また、当社は、事業を展開しているあらゆる場所で適用されるすべての公正競争法および反トラスト法を遵守します。

私たちの責任：

- 競合他社間の競争を制限しようとする、または制限する可能性のある行為、了解、合意（価格の固定、市場の分割など）を提案したり、これに関与したりしない。
- 不適切とみなされる恐れのある競合他社との接触や話し合いは避け、競争上の機密情報を共有したり、これについて話し合ったりすることもしない。このような状況に遭遇した場合は、速やかにこれを終わらせ、直ちに法務部門に通知する。
- 市場での当社の優位的な立場を利用しない。
- Assurantが権利を有する競合他社、顧客、サプライヤーに関する情報のみを使用・取得し、これを受け入れ、受け取る。

Q&A

Q: コンペティティブインテリジェンスとは何ですか。どのように私自身や業務に適用されますか。

A: コンペティティブインテリジェンスとは一般に、競合他社、お客様、およびビジネスにおける競争上の優位性に寄与するその他の市場要因について集められた情報を収集、分析、および使用する能力を指します。所有しているコンペティティブインテリジェンスの使用が適切であるかどうかを判断する際に支援が必要な場合は、コンプライアンス責任者または法務部門に連絡してください。

贈収賄防止および腐敗防止

Assurantは、公正かつ誠実に事業を行っており、当社が事業を展開する各地域において適用されるすべての腐敗防止法および贈収賄防止法を含む法律を遵守して事業を行うことに取り組んでいます。

Assurantは、あらゆる形態の贈収賄および汚職を一切容認しないポリシーを掲げています。当社の成功は、製品とサービスの優位性の結果であり、

贈収賄やその他の汚職によるものではありません。当社では、当社のため、または当社に代わってビジネスを獲得したり、維持したりする手段として腐敗行為や支払いを行うことは禁じられています。これらの行為をしなかったことにより、商機を失ったり、ビジネスから撤退したりする場合についても同様の規則が適用されます。

私たちの責任：

[贈収賄防止および腐敗防止ポリシー](#)に記載されているように、ビジネス上の優位性を得るために、誰かに価値あるものの提供を申し出たり、提供を約束したり、実際に提供したりすることは決してしない。

- 第三者を採用する前に、デューデリジェンスの手順に従う。
- 当社において禁じられていることを、第三者に依頼しない。
- 当社の[記録と情報の管理ポリシー](#)に基づき、第三者とのすべての取引に関する徹底的かつ完全な記録を保持する。
- 法務部門との協議がない限り、第三者と口頭で契約関係を結ぶことはしない。
- 当社の[贈収賄および汚職防止方針](#)に従わずに、政府関係者またはその家族に、贈答品、接待、または歓待などのビジネス上のもてなしを提供することはしない。



Q&A

Q: Assurantでは、贈収賄や汚職のリスクは大きな問題となっていますか。

A: 賄賂および汚職のリスクは、世界中で懸念されているものです。このようなリスクは、Assurantの健全性と実行可能性、および当社が事業を行う環境を損ないます。また、当社の評判が大きく損われ、厳しい罰金や刑事訴訟につながる場合もあります。

政府関係者とのやり取り

Assurantは、政府関係者とビジネスを行う際に最高の倫理基準に従います。Assurantは、ビジネスを不正に獲得したり、維持したり、相手の行動に影響を与えたり、あらゆる形態の不正な利益を得たりすることを目的として、政府関係者に価値あるものの提供を約束したり、申し出たり、実際に提供することを固く禁じています。公共政策の問題に関与する場合や、政府関係者との関係を構築および維持する場合、当社はすべての適用法を遵守します。

私たちの責任:

- 他国の政府、国内の政府、政府関連・連携団体および個人による干渉を受けることなく、客観性を維持し、意思決定プロセスにおける偏見を避け、当社の価値観を反映させる。
- 家族、親しい友人、ブローカー、代理人、弁護士、請負業者、または他のビジネスパートナーを通じて、直接的にも間接的にも、政府関係者に、当社の規範や[贈収賄防止および腐敗防止ポリシー](#)に矛盾する価値あるものの提供を申し出たり、約束したり、強要したり、提供の許可を与えたりしない。
- 少額であっても、便宜を図ってもらうための支払は禁じられていることから、政府関係者からこのような支払いを求められた場合は、直ちにコンプライアンス部門に連絡する。
- あらゆる政府および規制当局の監査や調査に全面的に協力する。
- 会社の政治活動方針声明にも定められているように、私たちに、個人の自由時間と費用を使用した政治活動に参加する権利があります。ただし、法務部門の事前承認なしに、Assurantのリソースを政治目的や寄付に使用することはできません。また、事業内容やAssurantにおける職務によっては、その他の規則が適用される場合があります。

輸入、輸出および反ボイコット法

当社はグローバル企業として事業を展開するあらゆる場所で、Assurantの製品、サービス、技術、情報の輸出入を規制する法律や規則を遵守しています。当社の取り組みとして、私たちは、当社が輸出入している物品、取引関係者、商品の生産地、および目的地に関する知識を得ています。

私たちの責任：

- 輸入、輸出、制裁、ボイコット、および禁輸に関連するすべての適用法、規制、制限を遵守する。
- すべての輸出入が、これらの要件に準拠していることを確認する。
- これらの活動を行う前に、現地の輸出入支援機関や企業コンプライアンスチームに相談する。
- 通関業者や物流業者など、Assurantが承認した第三者のみを利用する。
- 当社の輸出入を円滑に進めるために雇用された代理人や税関職員に提供する情報が、正確で事実に基づく情報であることを確認する。
- 税関の支払いについて、疑わしいと思われることや通常とは異なることがある場合はこれを報告する。
- 記録と情報の管理ポリシーに基づいて、すべての輸出入取引の記録を管理する。

Q&A

Q:携帯電話を国外に輸送する業務に携わっているのですが、私が知っておくべきことはありますか。

A: 一部の製品または技術では、出荷前に輸出または輸入の許可が必要になる場合があります。特定の技術情報は規制されており、インターネットへの投稿や電子メールへの添付が禁止されている場合があります。また、現地の法律により、販売自体が完全に禁止されている場合もあります。これらの義務を回避することを目的として、第三者を通じて禁止された目的地、個人または団体に会社の製品を配送することはできません。

Q:モバイルデバイスの部品を市場価格よりも低い価格で提供する新しいサプライヤーを見つけました。私がすべきことは何ですか。

A: 部品を購入する前に、調達部門と協力して契約を結んでください。早期に調達部門を関与させることで、相手が合法的なサプライヤーであり、そのサプライヤーの部品が[加工・流通過程](#)の管理基準や、紛争鉱物規制に準拠しているかどうかを審査できます。

倫理オフィス: 疑問や懸念がある場合には、内密の相談が可能な以下のオプションが利用可能です。

- 地域のコンプライアンス担当者に連絡する。
- 倫理オフィスに電子メールを送信する (ethics@Assurant.com)。

ウェブポータルからAssurant倫理・コンプライアンスヘルプラインを利用して、質問や懸念事項を報告する(現地の法律で認められている場合は、匿名でも可)：

helpline.assurant.com

- また、ヘルプラインへの連絡用の各地域の電話番号も、ウェブポータルに掲載されています。
- ヘルプラインに匿名でテキストメッセージを送信する 786-755-1030 (現時点では米国のみで利用可)。

サステナビリティに関する 責任



私たちは、良き地球市民であるべきであり、私たちには、託された資源の良き管理者となる責任があります。また、私たちが生活し、働く地域社会を強化するため、当社の成功を活用する責任があります。

慈善団体

Assurantは、当社が事業を展開する地域社会を、そこで活動する企業や家族、個人のために強化することに取り組んでいます。当社は、エンゲージメントチャンピオンチームを通じて、そして個人的にも、慈善活動を支援し、ボランティア活動を行うことを従業員に奨励しています。事業分野や地域を超えた連携を図り、地域社会におけるAssurantの影響力を最大限に高めるため、従業員はすべての慈善寄付、マッチングギフト、チームベースのボランティアイベントについて、Assurant Caresチームに相談する必要があります。

私たちの責任:

- 会社や組織 (Assurant が所有する会社を除く) の取締役役員を務めることに同意する前に、上司に相談し、かかる任務に就くことにより起こり得ることを理解し、かかる任務が実際の利益相反や、利益相反であると捉えられ得るかどうかを判断するため、マネージャーおよび倫理オフィスの承認を得る。詳細については、Assurant の [利益相反ポリシー](#) を参照してください。
- Assurantの利益と相反する可能性のある話し合いや決定には、関与しないようにする。
- Assurantが支援をしていない募金活動に従事する場合、私たちが雇用したり、業務に関与させたり、監督したりする責任がある他者を勧誘することは避ける。
- 他の従業員に対して、特定の慈善団体への寄付やその他の支援を強要することはしない。
- お客様や第三者からの慈善団体への寄付の依頼は、確約する前に、Assurant Caresプログラムに引き継ぐ。非営利または無料イベントでAssurantの不動産、施設、その他の資産 (ロゴを含む) を使用する際は、事前にAssurant Caresチーム、セキュリティ部門および施設部門の書面による承認を得る。

人権

私たちは、すべての人の人権と尊厳を尊重しています。当社は、以下に記載する事項を遵守し、これと同様の取り組みを実施するビジネスパートナーを尊重します。

- 安全な労働条件と個人の安全を促進する国際労働機関 (ILO) を含む法律および国際基準
- 強制労働を禁止する法律
- 未成年者の雇用の禁止
- **人身売買**の禁止
- 結社の自由と団体交渉権を保障する法や関連基準の遵守
- 環境および社会への影響を回避・軽減するため、国連のビジネスと人権に関する指導原則を遵守する。
- 潜在的な人権への影響を監視し、是正する。
- 当社の人権への取り組みについて社内外の利害関係者に伝える。

気候

当社は、顧客、従業員、地域社会、投資家など、利害関係者に長期的な価値を提供するため、持続可能な事業運営に取り組んでいます。私たちは、持続可能性を考慮した取り組みをビジネスアプローチに組み込むことで、当社の長期的な成功と利害関係者へのプラスの影響がもたらされると考えています。取締役会との長期的戦略計画プロセスを通じて、当社は気候問題を、事業の成功にとって重要な、複数年にわたる持続可能性の重点分野の1つとして特定しました。Assurantの持続可能性への取り組みに関する詳細については、[気候変動対策ポリシー](#)、[責任ある投資取り組み](#)、および[年次持続可能性レポート](#)を参照してください。

追加の リソース



主な定義

反トラスト法および競争法:

反トラスト法と競争法は、価格協定や他者の市場競争力を損なう反競争的ビジネス行為を防止するための法律です。

価値あるもの:

現金の支払い、融資、不適切な贈答品、旅行、宿泊、サービス、アメニティ、雇用機会やインターンシップ、慈善寄付、スポーツやその他のイベントのチケットなど、広義の概念での金銭的便宜、またはその他の便宜を含みますが、これらに限定されません。

贈収賄:

公的職務や信認義務、契約やその他の義務の遵守を含め、人に不適切な影響を与え、相手に不適切な行動を取らせたり、適切な行動を取らせないようにさせたり、その他不適切な利益を得ることを目的として、直接的または間接的に、何らかの価値あるものの提供を相手に意図的に申し出たり、提供を約束したり、実際に提供したりすること、または、上記のような目的で、相手から直接的または間接的に、何らかの価値あるものの提供の申し出、約束、または実際の提供を受け入れることを指します。

いじめ:

一般的に、恐怖、威嚇、屈辱、苦痛を与え、他人の身体、感情、自尊心、評判を傷つけることを目的とした、個人や複数人を対象とした、不合理で持続的な攻撃的行動を指します。

加工・流通過程の管理:

採掘者、輸送者、輸出者、加工者、製造者など、製品を手がけるサプライチェーンの全段階を指し、鉱物がサプライチェーンを通過する際に、鉱物を管理している一連の組織の記録を提供し、材料の原産地を追跡できるようにします。この規制の例としては、製造工程で奴隷労働が利用されていないことや、製造に使用されている部品が制裁国から入手されていないことを検証することなどが挙げられます。

会社の記録:

記録とは、Assurantの事業運営、法律や規制上の要件、財務上の責任、履歴上のニーズを満たす上で必要な、文書化された情報（紙やデジタルなどのあらゆる媒体）を指します。

機密情報:

Assurantでの業務において取得したり、受領したり、学んだり、作成したり、開発したり、アクセスしたりできる情報であり、一般に公開されていない情報を指します。

詳細については、[Assurant情報](#)

[分類ガイド](#)を参照してください。

紛争鉱物:

紛争地域で採取され、その地域の内戦資金や人権侵害に利用される、グローバルなサプライチェーンにおける天然資源のことです。

利益相反:

利益相反（「相反」または「利益相反」）は、個人の利益が Assurant またはその顧客の利益を何らかの形で妨害する可能性がある、または妨害している、あるいは妨害していると合理的に判断される場合に発生します。言い換えれば、「利益相反」への言及には、実際の利益相反または潜在的な利益相反だけでなく、関係のない人物から見た場合の（潜在的な）利益相反の認識も含まれます。

差別:

国際労働機関 (ILO) が示す通り、実際の、または想定される人種、肌の色、宗教、出身国、祖先、身体・精神障がいの有無、病状、遺伝情報、婚姻状況（登録済みのドメスティック・パートナーシップを含む）、性別（妊娠、出産、授乳、および関連する状態の有無を含む）、性自認および性表現、年齢、性的指向、過去または現在の兵役経験の有無、滞在資格、または Assurant が事業を展開する地域の法律や規制によって保護されているその他の身分などに基づいて、特に相手を不利な状況に陥れるような方法で個人を区別、排除、または優遇すること。

ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン(DEI) :

- **ダイバーシティ:**多様性は、私たちが極めて大切にしているものであり、すべての人が持つ、さまざまな共通点や相違点のことです。
- **エクイティ:**これは、私たちがどう扱われるかであり、エクイティとは、すべての人に公平な待遇、アクセス、機会、進歩を保障し、一部のグループによる、全ての人の参加を妨げてきた障壁を特定し、その排除に努めることです。
- **インクルージョン:**これは、私たちがどう感じるかであり、インクルーシブな職場は、すべての人の才能、スキル、視点を認識および評価し、効果的に活用します。

経済制裁:

経済制裁は、金融サービスの提供や取引など、さまざまな活動を厳しく制限する外交手段です。特定の目的の達成や活動を可能にするため、政府や国際機関が特定の個人や団体、管轄区域を孤立させたり、その活動を妨害したりするために科すものです。

便宜を図ってもらうための支払い:

許可の取得など、行政上の措置を促進させるための政府関係者に対する支払いを指します。

不正行為:

優位性を取得したり、義務を回避したり、他者に損失を与えたりする目的で策略を行うことです。内部不正には、窃盗、詐欺、その他の不正な手段により、Assurantやその顧客、またはその他のパートナーの資産を奪おうとする従業員の企図が含まれます。

政府関係者:

この用語は、政府が所有・管理する団体(少数政府所有を含む)および公的国際機関の従業員または代表者、ならびに選出公務員および公職候補者を含むよう広く定義されています。

ハラスメント:

保護対象となっている特性を持っていることを理由に、個人を誹謗中傷したり、軽蔑したり、侮辱したり、敵対的、攻撃的、脅迫的な職場環境を作り出したりするような、良くない言動や行動を指します。相手に不快感を与える意図がなくても、個人の行為がハラスメントであるとみなされる場合もあります。

人身売買:

人身売買には、武力、強制、詐欺、欺罔により、権力や弱い立場の相手を悪用することや、搾取目的で他者を支配する者の同意を得るために金銭や利益を授受することなどの手段を用いて、労働やサービスのために人員を集めたり、匿ったり、移送したり、提供したり、確保したりすることなどが含まれますが、これらに限定されません。搾取とは、自らの意思によらない隷属や日雇い労働者の身分、借金による束縛や奴隷制、臓器の摘出、売春、その他の形態の搾取を含みますが、これらに限定されません。

内部情報:

一般に公開されていない情報や、企業組織に関する一般に知られていない情報(「非公開情報」とも呼ばれます)のことです。

インサイダー取引:

インサイダー取引とは、上場企業の株式に関する非公開の重要情報を持っている人が、何らかの理由でその株式を取引することです。インサイダー取引は、内部関係者が取引を行うタイミングによって、違法にも合法にもなり得ます。重要な情報が未公開である場合は違法となります。

知的財産(IP):

商業的価値があり、著作権法、特許法、サービスマーク法、商標法で保護されている知識、アイデア、発見、調合法、発明、その他の無形資産を指します。知的財産のその他の例としては、技術インベントリ、ブランドおよびロゴ、ソフトウェアコード、プレゼンテーション、データベース、顧客リスト、プロセス文書、製品設計およびロードマップなどがあります。

リーガルホールド:

リーガルホールドは、予想される訴訟や政府の調査、および実際の訴訟や政府の調査などの特別な状況下において、適切な記録や情報を保存するため、すべての文書破壊手順を一時停止するものです。法務部門は、リーガルホールドに基づき必要となる記録、情報、または文書を特定します。

重要な非公開情報:

合法的な投資家が企業の有価証券を購入、保有または売却するかどうかを判断する際に重要であると思われる情報を指します。

マネーロンダリング:

違法行為によって得た金銭を、あたかも合法的に調達されたもの、あるいは合法的な取引から得たものであるかのように見せかけることを目的として「洗浄」することを指します。

保護された活動:

保護された活動には、ハラスメント行為、差別、報復の報告、ハラスメントの申し立て、調査における証拠の提供、あるいはハラスメント行為、差別、報復を受けた可能性のある他者を保護するための介入などがあります。

保護された特性:

保護された特性とは、年齢、家系、市民権、肌の色、信条、民族性、性自認・性表現、遺伝情報、婚姻関係の有無、精神的または身体的障がいの有無、出身国、妊娠の有無、人種、宗教、性別、性的指向、退役軍人のステータス、または連邦法、州法、地方法により定義されたその他のカテゴリーを指します。

人事 (HR)・労務関連の懸念事項:

福利厚生、同僚や上司との対立、職場での行為、差別、業績、報酬、盗難、ハラスメントなどに関する質問や懸念事項を指します。

報復:

当社の規範、会社のポリシー、または法的要件に対する実際の違反や違反の疑いに関する誠実な報告をした従業員に対し、不利な措置を講じることを指します。

法律、本規範、またはその他の会社のポリシー違反や違反の疑いについて誠意をもって報告した Assurant の従業員やその代理人への報復は、当社ポリシーにより禁じられています。また、報告された違反の調査に協力した人物に対する報復も禁じられています。誠意をもって申し立てを行った人物に対し報復行為を行った Assurant の従業員は、解雇を含む懲戒処分の対象となる場合があります。

セクシャルハラスメント:

セクシャルハラスメントとは、人のジェンダー・性別に基づく、口頭による、または身体的な迷惑行為を指し、口頭や身体接触による不快な性的勧誘、性的な行為の要求、性的な意味合いを持つ視覚・口頭による行為や身体的行為を含みます。

ソーシャルメディア:

「ソーシャルメディア」および「ソーシャルメディア活動」には、インターネットやイントラネット上で、情報およびあらゆる種類のコンテンツ(テキスト、画像、ビデオ、オーディオファイル、ポッドキャスト、プレゼンテーション、文書など)を伝達または投稿するすべての手段が含まれます。

テロ資金供与:

テロ資金供与とは、テロリストの活動のために資金を提供することを指します。これには、個人的な寄付や、企業や慈善団体からの利益などの正当な資金源から調達された資金だけでなく、麻薬取引、武器、その他の商品の密輸、詐欺、誘拐、恐喝などの犯罪により得られた資金が含まれる場合があります。

武器:

武器には、銃器、爆発物、ナイフ、その他危険であるとみなされ得る武器や、危害を加える可能性のある武器が含まれます。

職場:

職場には、実際の職場、当社に関連した業務が行われるあらゆる環境(通常の勤務時間内であるか否かを問わない)、当社従業員や当事業に携わる第三者とのオンライン上および電子的なやり取り、会社が主催するイベント、会社が所有・管理する建物などが含まれます。

倫理規範
オンライン



倫理・コンプライアンスヘルプライン

Web: helpline.assurant.com

電話番号のオプションについては、オンラインのヘルプラインにアクセスしてください。

匿名SMS: 786-755-1030
(現時点では米国のみ)



2024

Assurant, Inc.

260 Interstate North Circle SE

Atlanta, Georgia 30339

[assurant.com](https://www.assurant.com)

ビジネス行動および倫理規範オンライン:ethics.assurant.com

Assurant倫理オフィス:ethics@Assurant.com

倫理・コンプライアンスヘルプライン:[ヘルプライン](#)